

別表第1 授業科目、単位数、研究指導および履修方法

文学研究科英文学専攻

博士前期課程

[必修科目]

Proseminar	2		
Thesis Writing 1A	2	Thesis Writing 1B	2
Thesis Writing 2A	2	Thesis Writing 2B	2
研究法演習	2		

[英米文学専修者授業科目]

イギリス文学 (近代小説) I A	2	イギリス文学 (近代小説) I B	2
イギリス文学 (近代小説) II A	2	イギリス文学 (近代小説) II B	2
イギリス文学 (近代小説) III A	2	イギリス文学 (近代小説) III B	2
イギリス文学 (近代小説) IV A	2	イギリス文学 (近代小説) IV B	2
イギリス文学 (英語圏近現代小説) I A	2	イギリス文学 (英語圏近現代小説) I B	2
イギリス文学 (英語圏近現代小説) II A	2	イギリス文学 (英語圏近現代小説) II B	2
イギリス文学 (英語圏近現代小説) III A	2	イギリス文学 (英語圏近現代小説) III B	2
イギリス文学 (英語圏近現代小説) IV A	2	イギリス文学 (英語圏近現代小説) IV B	2
イギリス文学 (詩) I A	2	イギリス文学 (詩) I B	2
イギリス文学 (詩) II A	2	イギリス文学 (詩) II B	2
イギリス文学 (詩) III A	2	イギリス文学 (詩) III B	2
イギリス文学 (詩) IV A	2	イギリス文学 (詩) IV B	2
イギリス文学 (演劇) I A	2	イギリス文学 (演劇) I B	2
イギリス文学 (演劇) II A	2	イギリス文学 (演劇) II B	2
イギリス文学 (演劇) III A	2	イギリス文学 (演劇) III B	2
イギリス文学 (演劇) IV A	2	イギリス文学 (演劇) IV B	2
イギリス文学 (20世紀小説) I A	2	イギリス文学 (20世紀小説) I B	2
イギリス文学 (20世紀小説) II A	2	イギリス文学 (20世紀小説) II B	2
イギリス文学 (20世紀小説) III A	2	イギリス文学 (20世紀小説) III B	2
イギリス文学 (20世紀小説) IV A	2	イギリス文学 (20世紀小説) IV B	2
アメリカ文学 (19~20世紀小説) I A	2	アメリカ文学 (19~20世紀小説) I B	2
アメリカ文学 (19~20世紀小説) II A	2	アメリカ文学 (19~20世紀小説) II B	2
アメリカ文学 (19~20世紀小説) III A	2	アメリカ文学 (19~20世紀小説) III B	2
アメリカ文学 (19~20世紀小説) IV A	2	アメリカ文学 (19~20世紀小説) IV B	2
アメリカ文学 (現代小説・文化) I A	2	アメリカ文学 (現代小説・文化) I B	2
アメリカ文学 (現代小説・文化) II A	2	アメリカ文学 (現代小説・文化) II B	2
アメリカ文学 (現代小説・文化) III A	2	アメリカ文学 (現代小説・文化) III B	2
アメリカ文学 (現代小説・文化) IV A	2	アメリカ文学 (現代小説・文化) IV B	2
アメリカ文学 (詩・批評) I A	2	アメリカ文学 (詩・批評) I B	2

アメリカ文学 (詩・批評) II A	2	アメリカ文学 (詩・批評) II B	2
アメリカ文学 (詩・批評) III A	2	アメリカ文学 (詩・批評) III B	2
アメリカ文学 (詩・批評) IV A	2	アメリカ文学 (詩・批評) IV B	2
アメリカ文学 (小説・批評) I A	2	アメリカ文学 (小説・批評) I B	2
アメリカ文学 (小説・批評) II A	2	アメリカ文学 (小説・批評) II B	2
アメリカ文学 (小説・批評) III A	2	アメリカ文学 (小説・批評) III B	2
アメリカ文学 (小説・批評) IV A	2	アメリカ文学 (小説・批評) IV B	2
アメリカ文学 (19世紀小説) I A	2	アメリカ文学 (19世紀小説) I B	2
アメリカ文学 (19世紀小説) II A	2	アメリカ文学 (19世紀小説) II B	2
アメリカ文学 (19世紀小説) III A	2	アメリカ文学 (19世紀小説) III B	2
アメリカ文学 (19世紀小説) IV A	2	アメリカ文学 (19世紀小説) IV B	2
〔英語学専修者授業科目〕			
英語学 (音声学) I A	2	英語学 (音声学) I B	2
英語学 (音声学) II A	2	英語学 (音声学) II B	2
英語学 (音声学) III A	2	英語学 (音声学) III B	2
英語学 (音声学) IV A	2	英語学 (音声学) IV B	2
英語学 (統語論) I A	2	英語学 (統語論) I B	2
英語学 (統語論) II A	2	英語学 (統語論) II B	2
英語学 (統語論) III A	2	英語学 (統語論) III B	2
英語学 (統語論) IV A	2	英語学 (統語論) IV B	2
英語学 (意味論) I A	2	英語学 (意味論) I B	2
英語学 (意味論) II A	2	英語学 (意味論) II B	2
英語学 (意味論) III A	2	英語学 (意味論) III B	2
英語学 (意味論) IV A	2	英語学 (意味論) IV B	2
英語学 (社会言語学) I A	2	英語学 (社会言語学) I B	2
英語学 (社会言語学) II A	2	英語学 (社会言語学) II B	2
英語学 (社会言語学) III A	2	英語学 (社会言語学) III B	2
英語学 (社会言語学) IV A	2	英語学 (社会言語学) IV B	2
英語学 (言語獲得論) I A	2	英語学 (言語獲得論) I B	2
英語学 (言語獲得論) II A	2	英語学 (言語獲得論) II B	2
英語学 (言語獲得論) III A	2	英語学 (言語獲得論) III B	2
英語学 (言語獲得論) IV A	2	英語学 (言語獲得論) IV B	2
英語学 (英語教育学) I A	2	英語学 (英語教育学) I B	2
英語学 (英語教育学) II A	2	英語学 (英語教育学) II B	2
英語学 (英語教育学) III A	2	英語学 (英語教育学) III B	2
英語学 (英語教育学) IV A	2	英語学 (英語教育学) IV B	2
英語学 (英語教育研究) I A	2	英語学 (英語教育研究) I B	2
英語学 (英語教育研究) II A	2	英語学 (英語教育研究) II B	2
英語学 (英語教育研究) III A	2	英語学 (英語教育研究) III B	2

英語学（英語教育研究）IV A	2	英語学（英語教育研究）IV B	2
〔共通授業科目〕			
英米文学特講 A	2	英米文学特講 B	2
英語学特講（英語教育研究） A	2	英語学特講（英語教育研究） B	2

博士後期課程

研究指導	4		
イギリス文学特殊研究（近代小説）1A	2	イギリス文学特殊研究（近代小説）1B	2
イギリス文学特殊研究（英語圏近現代小説）1A	2	イギリス文学特殊研究（英語圏近現代小説）1B	2
イギリス文学特殊研究（20世紀小説）1A	2	イギリス文学特殊研究（20世紀小説）1B	2
イギリス文学特殊研究（詩）1A	2	イギリス文学特殊研究（詩）1B	2
イギリス文学特殊研究（演劇）1A	2	イギリス文学特殊研究（演劇）1B	2
アメリカ文学特殊研究（19世紀小説）1A	2	アメリカ文学特殊研究（19世紀小説）1B	2
アメリカ文学特殊研究（19～20世紀小説）1A	2	アメリカ文学特殊研究（19～20世紀小説）1B	2
アメリカ文学特殊研究（現代小説・文化）1A	2	アメリカ文学特殊研究（現代小説・文化）1B	2
アメリカ文学特殊研究（詩・批評）1A	2	アメリカ文学特殊研究（詩・批評）1B	2
アメリカ文学特殊研究（小説・批評）1A	2	アメリカ文学特殊研究（小説・批評）1B	2
英語学特殊研究（音声学）1A	2	英語学特殊研究（音声学）1B	2
英語学特殊研究（統語論）1A	2	英語学特殊研究（統語論）1B	2
英語学特殊研究（意味論）1A	2	英語学特殊研究（意味論）1B	2
英語学特殊研究（社会言語学）1A	2	英語学特殊研究（社会言語学）1B	2
英語学特殊研究（言語獲得論）1A	2	英語学特殊研究（言語獲得論）1B	2
英語学特殊研究（英語教育学）1A	2	英語学特殊研究（英語教育学）1B	2
英語学特殊研究（英語教育研究）1A	2	英語学特殊研究（英語教育研究）1B	2

履修方法

- (1) 博士前期課程にあつては、2年以上在学し、32単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文を作成しなければならない。
- (2) 博士前期課程では、すでに単位を修得した科目の再履修はできない。
- (3) 博士前期課程にあつては、指導教授の講義を合計8単位修得しなければならない。なお、5科目以降は修了要件単位には含まれない。
- (4) 博士前期課程の必修科目の履修については次の通りとする。ア、Thesis writing 1A、1B（英米文学専修科目）は、一年次に履修することが望ましい。Thesis writing 2A、2B（英語学専修科目）は、二年次に履修することが望ましい。イ、Proseminar は、一年次に履修することが望ましい。ウ、指導教授の開講する研究法演習は、二年次に履修することが望ましい。
- (5) 後期課程にあつては、指導教授の研究指導12単位を含む16単位を修得し、毎年、博士準備

論文を執筆し、修了にあたっては博士後期課程論文を提出しなければならない。

- (6) 指導教授と専攻主任が認めた場合には、文学研究科内の他専攻の開設科目を履修して、8 単位までを本専攻における修了単位とみなすことができる。
- (7) 後期課程の在学者は、前期課程の講義を受講することができる。

文学研究科フランス文学専攻

博士前期課程

演習 I A	2	演習 I B	2
演習 II A	2	演習 II B	2
演習 III A	2	演習 III B	2
演習 IV A	2	演習 IV B	2
演習 V A	2	演習 V B	2
演習 VI A	2	演習 VI B	2
特殊研究 I A	2	特殊研究 I B	2
特殊研究 II A	2	特殊研究 II B	2
特殊研究 III A	2	特殊研究 III B	2
特殊研究 IV A	2	特殊研究 IV B	2
特殊研究 V A	2	特殊研究 V B	2
特殊研究 VI A	2	特殊研究 VI B	2
留学準備演習 A	2	留学準備演習 B	2

博士後期課程

特別演習 I A	2	特別演習 I B	2
特別演習 II A	2	特別演習 II B	2
特別演習 III A	2	特別演習 III B	2
特別演習 IV A	2	特別演習 IV B	2
特別講義 I A	2	特別講義 I B	2
特別講義 II A	2	特別講義 II B	2
特別講義 III A	2	特別講義 III B	2
特別講義 IV A	2	特別講義 IV B	2
研究実習 A	1	研究実習 B	1

履修方法

1. 博士前期課程にあつては、「演習」は、指導教員の授業を 2 年度にわたって必修（同一科目名でも履修可能）とするが、他の「演習 A・B」を併せて履修してもよい。「特殊研究」は、年度ごとに、「特殊研究 A・B」の 2 科目を必修とするが、他の「特殊研究 A・B」を併せて履修してもよい。また、指導教員が認めた場合には、文学研究科内の他専攻の開講科目を履修して、8 単位までを本専攻における修了単位とみなすことができる。
2. 博士前期課程にあつては、30 単位以上を修得し、かつ、修士論文を提出しなければならない。
3. 博士後期課程にあつては、指導教員の研究指導に基づいて、特別演習 12 単位（3 年継続履修、

同一科目名でも履修可能) を含め、16 単位以上を修得し、かつ、博士論文を作成しなければならない。

文学研究科芸術学専攻

博士前期課程

1 音楽学研究コース

音楽学演習 I A	2	音楽学演習 I B	2
音楽学演習 I C	2	音楽学演習 I D	2
音楽学演習 II A	2	音楽学演習 II B	2
音楽学演習 II C	2	音楽学演習 II D	2
音楽学演習 III A	2	音楽学演習 III B	2
音楽学演習 III C	2	音楽学演習 III D	2
音楽学特殊講義 I A	2	音楽学特殊講義 I B	2
音楽学特殊講義 II A	2	音楽学特殊講義 II B	2
音楽学特殊講義 III A	2	音楽学特殊講義 III B	2
音楽学特殊講義 IV A	2	音楽学特殊講義 IV B	2
音楽学特殊講義 V A	2	音楽学特殊講義 V B	2
音楽学特殊講義 VI A	2	音楽学特殊講義 VI B	2
芸術学特論(音楽学)	2		

2 映像芸術学研究コース

映像芸術学演習 I A	2	映像芸術学演習 I B	2
映像芸術学演習 I C	2	映像芸術学演習 I D	2
映像芸術学演習 II A	2	映像芸術学演習 II B	2
映像芸術学演習 II C	2	映像芸術学演習 II D	2
映像芸術学演習 III A	2	映像芸術学演習 III B	2
映像芸術学演習 III C	2	映像芸術学演習 III D	2
映像芸術学特殊講義 I A	2	映像芸術学特殊講義 I B	2
映像芸術学特殊講義 II A	2	映像芸術学特殊講義 II B	2
映像芸術学特殊講義 III A	2	映像芸術学特殊講義 III B	2
映像芸術学特殊講義 IV A	2	映像芸術学特殊講義 IV B	2
映像芸術学特殊講義 V A	2	映像芸術学特殊講義 V B	2
映像芸術学特殊講義 VI A	2	映像芸術学特殊講義 VI B	2
芸術学特論(映像芸術学)	2		

3 美術史学研究コース

美術史学演習 I A	2	美術史学演習 I B	2
美術史学演習 I C	2	美術史学演習 I D	2
美術史学演習 II A	2	美術史学演習 II B	2
美術史学演習 II C	2	美術史学演習 II D	2
美術史学特殊講義 I A	2	美術史学特殊講義 I B	2
美術史学特殊講義 II A	2	美術史学特殊講義 II B	2
美術史学特殊講義 III A	2	美術史学特殊講義 III B	2
美術史学特殊講義 IV A	2	美術史学特殊講義 IV B	2
芸術学特論(美術史学)	2		

4 芸術メディア論研究コース

芸術メディア論演習ⅠA	2	芸術メディア論演習ⅠB	2
芸術メディア論演習ⅠC	2	芸術メディア論演習ⅠD	2
芸術メディア論演習ⅡA	2	芸術メディア論演習ⅡB	2
芸術メディア論演習ⅡC	2	芸術メディア論演習ⅡD	2
芸術メディア論特殊講義ⅠA	2	芸術メディア論特殊講義ⅠB	2
芸術メディア論特殊講義ⅡA	2	芸術メディア論特殊講義ⅡB	2
芸術メディア論特殊講義ⅢA	2	芸術メディア論特殊講義ⅢB	2
芸術メディア論特殊講義ⅣA	2	芸術メディア論特殊講義ⅣB	2
芸術学特論(芸術メディア論)	2		
5 演劇身体表現論研究コース			
演劇身体表現論演習ⅠA	2	演劇身体表現論演習ⅠB	2
演劇身体表現論演習ⅠC	2	演劇身体表現論演習ⅠD	2
演劇身体表現論演習ⅡA	2	演劇身体表現論演習ⅡB	2
演劇身体表現論演習ⅡC	2	演劇身体表現論演習ⅡD	2
演劇身体表現論特殊講義ⅠA	2	演劇身体表現論特殊講義ⅠB	2
演劇身体表現論特殊講義ⅡA	2	演劇身体表現論特殊講義ⅡB	2
演劇身体表現論特殊講義ⅢA	2	演劇身体表現論特殊講義ⅢB	2
演劇身体表現論特殊講義ⅣA	2	演劇身体表現論特殊講義ⅣB	2
芸術学特論(演劇身体表現論)	2		
6 博物館学芸員課程関係科目			
博物館概論	2		
博物館学各論A	2	博物館学各論B	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
生涯学習概論	2		
視聴覚教育メディア論A	2	視聴覚教育メディア論B	2
博物館教育論A	2	博物館教育論B	2
博物館実習	3		
西洋美術通史P	2	西洋美術通史S	2
日本・東洋美術通史P	2	日本・東洋美術通史S	2
日本・東洋美術史研究A	2	日本・東洋美術史研究B	2
西洋美術史研究A	2	西洋美術史研究B	2
文化史A	2	文化史B	2
民俗学A	2	民俗学B	2
博士後期課程			
研究指導	4		
1 音楽学研究コース			
音楽学特殊研究ⅠA	2	音楽学特殊研究ⅠB	2
音楽学特殊研究ⅡA	2	音楽学特殊研究ⅡB	2
音楽学特殊研究ⅢA	2	音楽学特殊演習ⅢB	2
2 映像芸術学研究コース			
映像芸術学特殊研究ⅠA	2	映像芸術学特殊研究ⅠB	2
映像芸術学特殊研究ⅡA	2	映像芸術学特殊研究ⅡB	2
映像芸術学特殊研究ⅢA	2	映像芸術学特殊研究ⅢB	2
3 美術史学研究コース			
美術史学特殊研究ⅠA	2	美術史学特殊研究ⅠB	2
美術史学特殊研究ⅡA	2	美術史学特殊研究ⅡB	2
4 芸術メディア論研究コース			

芸術メディア論特殊研究 I A	2	芸術メディア論特殊研究 I B	2
芸術メディア論特殊研究 II A	2	芸術メディア論特殊研究 II B	2
5 演劇身体表現論研究コース			
演劇身体表現論特殊研究 I A	2	演劇身体表現論特殊研究 I B	2
演劇身体表現論特殊研究 II A	2	演劇身体表現論特殊研究 II B	2
6 博物館学芸員課程関係科目			
博物館概論	2		
博物館学各論 A	2	博物館学各論 B	2
博物館資料保存論	2	博物館展示論	2
博物館教育論 A	2	博物館教育論 B	2
生涯学習概論	2		
視聴覚教育メディア論 A	2	視聴覚教育メディア論 B	2
博物館実習	3		
西洋美術通史 P	2	西洋美術通史 S	2
日本・東洋美術通史 P	2	日本・東洋美術通史 S	2
日本・東洋美術史研究 A	2	日本・東洋美術史研究 B	2
西洋美術史研究 A	2	西洋美術史研究 B	2
文化史 A	2	文化史 B	2
民俗学 A	2	民俗学 B	2

履修方法

- 1 芸術学専攻博士前期課程にあつては、2 年以上在学し、32 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文を作成しなければならない。
- 2 指導教員は所属コースの専任教員のなかから選ぶ。
- 3 「演習」は、指導教員または所属コースの専任教員の授業 4 科目 8 単位を必修とするが、併せて他の「演習」（他コースも含む）を年度ごとに履修することもできる。いずれの場合も「演習」の再履修は 2 年を上限とする。
- 4 「特殊講義」は所属コースの「特殊講義」のうち、2 科目 4 単位を履修しなければならないが、他の「特殊講義」（他コースも含む）も併せて履修することができる。
- 5 指導教員が認めた場合には、文学研究科内の他専攻の開講科目を履修して、2 科目 4 単位までを本専攻における修了単位とみなすことができる。
- 6 芸術学専攻博士後期課程にあつては、原則として指導教員の演習 8 単位（「研究指導」4 単位を 2 年間にわたって履修する）と指導教員以外の講義 4 単位を含めた合計 16 単位を履修し、かつ、博士論文を作成しなければならない。
- 7 文学部芸術学科が併設する博物館学芸員課程の授業科目を、文学研究科芸術学専攻博士前期課程および博士後期課程の学生が修得し、学芸員資格を得ることができる。
- 8 博物館学芸員課程の授業科目の単位は、文学研究科芸術学専攻博士前期課程および博士後期課程の、修了に必要な単位には含まれない。

経済学研究科経済学専攻

博士前期課程

【演習科目】

演習Ⅰ	4	演習Ⅱ	4
-----	---	-----	---

【講義科目】

ミクロ経済学特論 1	2	ミクロ経済学特論 2	2
マクロ経済学特論 1	2	マクロ経済学特論 2	2
経済政策論特論 1	2	経済政策論特論 2	2
経済数学特論	2	応用数学特論	2
数理統計学特論	2	時系列解析特論	2
労働経済論特論 1	2	労働経済論特論 2	2
社会政策論特論 1	2	社会政策論特論 2	2
農業政策論特論 1	2	農業政策論特論 2	2
一般均衡特論 1	2	一般均衡特論 2	2
ゲーム理論特論 1	2	ゲーム理論特論 2	2
日本経済史特論 1	2	日本経済史特論 2	2
西洋経済史特論 1	2	西洋経済史特論 2	2
経済学史特論	2	比較経済思想史特論	2
世界経済論特論 1	2	世界経済論特論 2	2
ヨーロッパ経済特論 1	2	ヨーロッパ経済特論 2	2
日本経済論特論 1	2	日本経済論特論 2	2
中国経済論特論 1	2	中国経済論特論 2	2
開発経済学特論	2	健康医療経済学特論	2
金融論特論 1	2	金融論特論 2	2
国際金融論特論 1	2	国際金融論特論 2	2
租税法特論 1	2	租税法特論 2	2
財政学特論	2	租税論特論	2
公共経済学特論	2	地方財政論特論	2
特殊講義 1	2	特殊講義 2	2
公共政策論特論 1	2	公共政策論特論 2	2
実験経済学特論 1	2	実験経済学特論 2	2
法と経済学特論 1	2	法と経済学特論 2	2

博士後期課程

理論経済学特殊研究 (Ⅰ)	4	理論経済学特殊研究 (Ⅰ) 演習	4
理論経済学特殊研究 (Ⅱ)	4	理論経済学特殊研究 (Ⅱ) 演習	4
理論経済学特殊研究 (Ⅲ)	4	理論経済学特殊研究 (Ⅲ) 演習	4
理論経済学特殊研究 (Ⅳ)	4	理論経済学特殊研究 (Ⅳ) 演習	4
理論経済学特殊研究 (Ⅴ)	4	理論経済学特殊研究 (Ⅴ) 演習	4
金融論特殊研究 (Ⅰ)	4	金融論特殊研究 (Ⅰ) 演習	4
金融論特殊研究 (Ⅱ)	4	金融論特殊研究 (Ⅱ) 演習	4
経済数学特殊研究 (Ⅰ)	4	経済数学特殊研究 (Ⅰ) 演習	4
経済数学特殊研究 (Ⅱ)	4	経済数学特殊研究 (Ⅱ) 演習	4
経済史特殊研究 (Ⅰ)	4	経済史特殊研究 (Ⅰ) 演習	4
経済史特殊研究 (Ⅱ)	4	経済史特殊研究 (Ⅱ) 演習	4
経済史特殊研究 (Ⅲ)	4	経済史特殊研究 (Ⅲ) 演習	4
各国経済論特殊研究 (Ⅰ)	4	各国経済論特殊研究 (Ⅰ) 演習	4
各国経済論特殊研究 (Ⅱ)	4	各国経済論特殊研究 (Ⅱ) 演習	4

経済政策論特殊研究 (I)	4	経済政策論特殊研究 (I) 演習	4
経済政策論特殊研究 (II)	4	経済政策論特殊研究 (II) 演習	4
経済政策論特殊研究 (III)	4	経済政策論特殊研究 (III) 演習	4
経済学史特殊研究	4	経済学史特殊研究演習	4
公共経済学特殊研究 (I)	4	公共経済学特殊研究 (I) 演習	4
公共経済学特殊研究 (II)	4	公共経済学特殊研究 (II) 演習	4
公共政策論特殊研究 (I)	4	公共政策論特殊研究 (I) 演習	4

履修方法

1. 博士前期課程にあつては、所定の期間在籍し、30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえで、修士論文を作成しなければならない。
2. 博士前期課程では、単位修得科目の再履修はできない。
3. 博士前期課程にあつては、原則として指導教授による講義 2 科目 4 単位と 2 年継続の演習 8 単位 (1 年次 4 単位、2 年次 4 単位) 合計 12 単位を必修とする。
4. 博士前期課程にあつては、3. の必修科目以外に所属専攻の授業科目の中から 18 単位を履修し、修得しなければならない。
5. 博士後期課程にあつては、原則として指導教授の講義科目(4 単位)と、演習 (4 単位) を 3 年連続で 12 単位を履修し、合計 16 単位を修得しなければならない。さらに、在籍期間中、指導教授の指導にもとづいて、必要な科目を履修しなければならない。

経済学研究科経営学専攻

博士後期課程

マーケティング情報システム論特殊研究	4	マーケティング情報システム論 特殊研究演習 1	4
マーケティング情報システム論 特殊研究演習 2	4	マーケティング情報システム論 特殊研究演習 3	4
マーケティング・サイエンス特殊研究	4	マーケティング・サイエンス 特殊研究演習 1	4
マーケティング・サイエンス 特殊研究演習 2	4	マーケティング・サイエンス 特殊研究演習 3	4
経営戦略論特殊研究	4	経営戦略論特殊研究演習 1	4
経営戦略論特殊研究演習 2	4	経営戦略論特殊研究演習 3	4
情報管理論特殊研究	4	情報管理論特殊研究演習 1	4
情報管理論特殊研究演習 2	4	情報管理論特殊研究演習 3	4
国際経営論特殊研究	4	国際経営論特殊研究演習 1	4
国際経営論特殊研究演習 2	4	国際経営論特殊研究演習 3	4
イノベーション特殊研究	4	イノベーション特殊研究演習 1	4
イノベーション特殊研究演習 2	4	イノベーション特殊研究演習 3	4
異文化マネジメント特殊研究	4	異文化マネジメント特殊研究演習 1	4
異文化マネジメント特殊研究演習 2	4	異文化マネジメント特殊研究演習 3	4

人的資源管理特殊研究	4	人的資源管理特殊研究演習 1	4
人的資源管理特殊研究演習 2	4	人的資源管理特殊研究演習 3	4
産業史特殊研究	4	産業史特殊研究演習 1	4
産業史特殊研究演習 2	4	産業史特殊研究演習 3	4
日本経営史特殊研究	4	日本経営史特殊研究演習 1	4
日本経営史特殊研究演習 2	4	日本経営史特殊研究演習 3	4
ファイナンス特殊研究	4	ファイナンス特殊研究演習 1	4
ファイナンス特殊研究演習 2	4	ファイナンス特殊研究演習 3	4
計量ファイナンス特殊研究	4	計量ファイナンス特殊研究演習 1	4
計量ファイナンス特殊研究演習 2	4	計量ファイナンス特殊研究演習 3	4
国際貿易特殊研究	4	国際貿易特殊研究演習 1	4
国際貿易特殊研究演習 2	4	国際貿易特殊研究演習 3	4
財務会計論特殊研究	4	財務会計論特殊研究演習 1	4
財務会計論特殊研究演習 2	4	財務会計論特殊研究演習 3	4
管理会計論特殊研究	4	管理会計論特殊研究演習 1	4
管理会計論特殊研究演習 2	4	管理会計論特殊研究演習 3	4
原価計算論特殊研究	4	原価計算論特殊研究演習 1	4
原価計算論特殊研究演習 2	4	原価計算論特殊研究演習 3	4
国際会計論特殊研究	4	国際会計論特殊研究演習 1	4
国際会計論特殊研究演習 2	4	国際会計論特殊研究演習 3	4
企業分析特殊研究	4	企業分析特殊研究演習 1	4
企業分析特殊研究演習 2	4	企業分析特殊研究演習 3	4
税法特殊研究	4	税法特殊研究演習 1	4
税法特殊研究演習 2	4	税法特殊研究演習 3	4

履修方法

経済学研究科経営学専攻博士後期課程にあつては、指導教授の講義科目（4単位）と、演習（4単位）を3年連続で12単位を履修し、合計16単位を修得しなければならない。さらに、在籍期間中、指導教授の指導にもとづいて、必要な科目を履修しなければならない。

社会学研究科社会学専攻

博士前期課程

1. 基礎研究

社会学基礎演習	2		
アカデミック・ライティング 1A	2	アカデミック・ライティング 1B	2
アカデミック・ライティング 2A	2	アカデミック・ライティング 2B	2

2. 理論・方法論研究

社会学方法論研究	2	社会学方法論研究 1A	2
社会学方法論研究 1B	2	社会学方法論研究 2A	2
社会学方法論研究 2B	2	数量データ分析特論	2
質的データ分析特論	2		

3. 個別分野研究

家族社会学研究 1A	2	家族社会学研究 1B	2
家族社会学研究 2A	2	家族社会学研究 2B	2

性現象論研究 1A	2	性現象論研究 1B	2
性現象論研究 2A	2	性現象論研究 2B	2
医療と身体研究 1A	2	医療と身体研究 1B	2
医療と身体研究 2A	2	医療と身体研究 2B	2
犯罪社会学研究 1A	2	犯罪社会学研究 1B	2
犯罪社会学研究 2A	2	犯罪社会学研究 2B	2
社会心理学研究 1A	2	社会心理学研究 1B	2
社会心理学研究 2A	2	社会心理学研究 2B	2
社会倫理学研究 1A	2	社会倫理学研究 1B	2
社会倫理学研究 2A	2	社会倫理学研究 2B	2
都市と地域社会研究 1A	2	都市と地域社会研究 1B	2
都市と地域社会研究 2A	2	都市と地域社会研究 2B	2
社会構造論研究 1A	2	社会構造論研究 1B	2
社会構造論研究 2A	2	社会構造論研究 2B	2
環境社会学研究 1A	2	環境社会学研究 1B	2
環境社会学研究 2A	2	環境社会学研究 2B	2
メディア社会学研究 1A	2	メディア社会学研究 1B	2
メディア社会学研究 2A	2	メディア社会学研究 2B	2
歴史社会学研究 1A	2	歴史社会学研究 1B	2
歴史社会学研究 2A	2	歴史社会学研究 2B	2
市民社会論研究 1A	2	市民社会論研究 1B	2
市民社会論研究 2A	2	市民社会論研究 2B	2
子どもと教育研究 1A	2	子どもと教育研究 1B	2
子どもと教育研究 2A	2	子どもと教育研究 2B	2
文化産業論研究 1A	2	文化産業論研究 1B	2
文化産業論研究 2A	2	文化産業論研究 2B	2
コミュニケーション研究 1A	2	コミュニケーション研究 1B	2
コミュニケーション研究 2A	2	コミュニケーション研究 2B	2
文化社会論研究 1A	2	文化社会論研究 1B	2
文化社会論研究 2A	2	文化社会論研究 2B	2
社会人類学研究 1A	2	社会人類学研究 1B	2
社会人類学研究 2A	2	社会人類学研究 2B	2
社会階層論研究 1A	2	社会階層論研究 1B	2
社会階層論研究 2A	2	社会階層論研究 2B	2
4. 特殊分野研究			
社会学特講ⅠA	2	社会学特講ⅡA	2
社会学特講ⅢA	2	社会学特講ⅣA	2
社会学特講ⅠB	2	社会学特講ⅡB	2
社会学特講ⅢB	2	社会学特講ⅣB	2
5. 実習			
調査実習Ⅰ	4	調査実習Ⅱ	4
調査実習Ⅲ	4	調査実習Ⅳ	4
6. 研究指導			
研究指導	3		
7. 社会調査士資格関係科目			
社会調査の基礎	2	社会調査の技法	2
データ分析入門	2	社会統計学	2
数量データ分析	2	質的データ分析	2

履修方法

1. 博士前期課程にあつては、2年以上在籍し、30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文を作成しなければならない。
2. 博士前期課程では、研究指導のみ、継続して履修できる。
3. 必修単位については、社会学基礎演習2単位、かつ指導教員の研究指導3単位を2年継続して(計6単位)、合計8単位を修得しなければならない。
4. 研究指導は、原則として同一教員のものを履修することとする。
5. その他の授業科目22単位以上を選択履修するものとする。
6. 同一研究科内の他専攻の授業科目から4科目8単位までは、研究科委員会の承認を得て履修することができる。
7. 社会学部社会学科が併設する社会調査士資格取得のための授業科目を、社会学研究科社会学専攻博士前期課程の学生が履修し、社会調査士資格の認定を申請することができる。
8. 社会調査士資格関係科目の単位は、社会学研究科社会学専攻博士前期課程の修了に必要な単位には含まれない。

博士後期課程

1. 研究指導

研究指導 (社会心理学研究)	4
研究指導 (家族社会学研究)	4
研究指導 (文化社会学研究)	4
研究指導 (都市と地域社会研究)	4

研究指導 (犯罪社会学研究)	4
研究指導 (性現象論研究)	4
研究指導 (医療と身体研究)	4
研究指導 (社会構造論研究)	4
研究指導 (環境社会学研究)	4
研究指導 (歴史社会学研究)	4
研究指導 (コミュニケーション研究)	4
研究指導 (文化産業論研究)	4

研究指導 (社会倫理学研究)	4
研究指導 (メディア社会学研究)	4
研究指導 (市民社会論研究)	4
研究指導 (子どもと教育研究)	4
研究指導 (社会人類学研究)	4

2. 理論・方法論研究

特別研究 (社会学基礎理論)	2	特別研究 (社会学方法論)	2
----------------	---	---------------	---

3. 社会調査士資格関係科目

社会調査の基礎	2	社会調査の技法	2
データ分析入門	2	社会統計学	2
数量データ分析	2	質的データ分析	2
社会調査実習	4	社会教育調査実習	4

履修方法

1. 社会学研究科社会学専攻博士後期課程にあつては、指導教員の研究指導4単位を3年継続して(計12単位)、かつ、理論・方法論研究4単位、合計16単位を修得しなければならない。
2. 社会学部社会学科が併設する社会調査士資格取得のための授業科目を、社会学研究科社会学専

攻博士後期課程の学生が履修し、社会調査士資格の認定を申請することができる。

3. 社会調査士資格関係科目の単位は、社会学研究科社会学専攻博士後期課程の修了に必要な単位には含まれない。

社会学研究科社会福祉学専攻

博士前期課程

1. 基礎研究領域

社会福祉原論研究A	2	社会福祉原論研究B	2
ソーシャルワーク論研究A	2	ソーシャルワーク論研究B	2
社会福祉研究法A	2	社会福祉研究法B	2
データ分析法A	2	データ分析法B	2
社会保障論研究A	2	社会保障論研究B	2
社会福祉史研究A	2	社会福祉史研究B	2
社会福祉法制研究A	2	社会福祉法制研究B	2
社会福祉調査論研究A	2	社会福祉調査論研究B	2
福祉開発論研究A	2	福祉開発論研究B	2
社会政策論研究A	2	社会政策論研究B	2

2. 実践研究領域

ソーシャルワーク研究1A	2	ソーシャルワーク研究1B	2
ソーシャルワーク研究2A	2	ソーシャルワーク研究2B	2
ソーシャルワーク研究3A	2	ソーシャルワーク研究3B	2
ソーシャルワーク研究4A	2	ソーシャルワーク研究4B	2
ソーシャルワーク研究5A	2	ソーシャルワーク研究5B	2

3. 実習関係領域

ソーシャルワーク実習1	4	ソーシャルワーク実習2	4
ソーシャルワーク実習3	4	ソーシャルワーク実習4	4
社会福祉調査実習	4		

4. 課題別研究領域

公的扶助論研究A	2	公的扶助論研究B	2
地域福祉論研究A	2	地域福祉論研究B	2
精神保健福祉論研究A	2	精神保健福祉論研究B	2
児童福祉論研究A	2	児童福祉論研究B	2
障害者福祉論研究A	2	障害者福祉論研究B	2
高齢者福祉論研究A	2	高齢者福祉論研究B	2

医療福祉論研究 A	2	医療福祉論研究 B	2
特別支援教育論研究 A	2	特別支援教育論研究 B	2
社会起業論研究 A	2	社会起業論研究 B	2
若者支援論研究 A	2	若者支援論研究 B	2
多文化共生論研究 A	2	多文化共生論研究 B	2
5. 特別講義領域			
社会福祉研究特講	2	ソーシャルワーク研究特講	2
6. 研究指導領域			
研究指導 1	3	研究指導 2	3

履修方法

1. 博士前期課程にあっては、2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文を作成しなければならない。
2. 「現職ソーシャルワーカーのためのリカレント教育をサポートする」ためのコース（以下 3 年制コースと称する。3 年制コースは長期在学制度を指す。）を選択した者については、3 年以上在学し、33 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、前期課程在籍 2 年目の履修登録時に、研究課題修了報告書あるいは修士論文のいずれかを選択しなければならない。なお、前記研究課題修了報告書は、修士論文と同等の明治学院大学学位規程における学位論文にあたる。
3. 博士前期課程の 2 年制コースと 3 年制コースの選択は入学試験の際に行う。選択したコースは、理由を問わずこれを変更できない。
4. 研究指導 1・3 単位合計 6 単位（1 年次 3 単位、2 年次 3 単位）は 2 年制コースの、研究指導 2・3 単位合計 9 単位（1 年次 3 単位、2 年次 3 単位、3 年次 3 単位）は 3 年制コースの必修科目とする。なお、研究指導は、原則として同一教員のものを履修することとする。
5. 博士前期課程では単位修得科目の再履修はできない。
6. 必修科目以外に、所属専攻の授業科目の中から 24 単位以上を選択履修する。
7. 同一研究科内の他専攻の授業科目の中から 4 科目 8 単位までは、研究科委員会の承認を得て履修することができる。ただし、これらの単位は、社会学研究科社会福祉学専攻前期課程の修了に必要な単位には含まれない。

博士後期課程

特殊研究（社会福祉原論研究）	4	特殊研究（社会福祉原論研究）研究指導	4
特殊研究（社会福祉史研究）	4	特殊研究（社会福祉史研究）研究指導	4
特殊研究（社会保障論研究）	4	特殊研究（社会保障論研究）研究指導	4
特殊研究（社会福祉法制論研究）	4	特殊研究（社会福祉法制論研究）研究指導	4
特殊研究（地域福祉論研究）	4	特殊研究（地域福祉論研究）研究指導	4

特殊研究（児童福祉論研究）	4	特殊研究（児童福祉論研究）研究指導	4
特殊研究（高齢者福祉論研究）	4	特殊研究（高齢者福祉論研究）研究指導	4
特殊研究（精神保健福祉論研究）	4	特殊研究（精神保健福祉論研究）研究指導	4
特殊研究（障害者福祉論研究）	4	特殊研究（障害者福祉論研究）研究指導	4
特殊研究（ソーシャルワーク研究 1）	4	特殊研究（ソーシャルワーク研究 1）研究指導	4
特殊研究（ソーシャルワーク研究 2）	4	特殊研究（ソーシャルワーク研究 2）研究指導	4
特殊研究（ソーシャルワーク研究 3）	4	特殊研究（ソーシャルワーク研究 3）研究指導	4
特殊研究（ソーシャルワーク研究 4）	4	特殊研究（ソーシャルワーク研究 4）研究指導	4
特殊研究（ソーシャルワーク研究 5）	4	特殊研究（ソーシャルワーク研究 5）研究指導	4
特殊研究（ソーシャルワーク論研究）	4	特殊研究（ソーシャルワーク論研究）研究指導	4
特殊研究（医療福祉論研究）	4	特殊研究（医療福祉論研究）研究指導	4
特殊研究（特別支援教育論研究）	4	特殊研究（特別支援教育論研究）研究指導	4
特殊研究（社会福祉調査論研究）	4	特殊研究（社会福祉調査論研究）研究指導	4
特殊研究（公的扶助論研究）	4	特殊研究（公的扶助論研究）研究指導	4
特殊研究（福祉開発論研究）	4	特殊研究（福祉開発論研究）研究指導	4
特殊研究（社会政策論研究）	4	特殊研究（社会政策論研究）研究指導	4
特殊研究（社会起業論研究）	4	特殊研究（社会起業論研究）研究指導	4
特殊研究（若者支援論研究）	4	特殊研究（若者支援論研究）研究指導	4
特殊研究（多文化共生論研究）	4	特殊研究（多文化共生論研究）研究指導	4

履修方法

1. 社会学研究科社会福祉学専攻博士後期課程にあつては、指導教授の講義科目 4 単位と研究指導 8 単位（2 年間にわたって履修）合計 12 単位を修得し、かつ、博士論文を作成しなければならない。
2. さらに、指導教授の指導にもとづいて、前期課程の授業科目（研究指導領域を除く）を受講することができる。

法学研究科法律学専攻

博士後期課程

研究指導科目

研究指導（法哲学A）	2	研究指導（法哲学B）	2
研究指導（西洋法制史A）	2	研究指導（西洋法制史 B）	2
研究指導（法社会学 A）	2	研究指導（法社会学 B）	2
研究指導（憲法 1A）	2	研究指導（憲法 1B）	2

研究指導 (憲法 2A)	2	研究指導 (憲法 2B)	2
研究指導 (憲法 3A)	2	研究指導 (憲法 3B)	2
研究指導 (行政法 1A)	2	研究指導 (行政法 1B)	2
研究指導 (行政法 2A)	2	研究指導 (行政法 2B)	2
研究指導 (租税法 A)	2	研究指導 (租税法 B)	2
研究指導 (国際租税法 A)	2	研究指導 (国際租税法 B)	2
研究指導 (国際法 1A)	2	研究指導 (国際法 1B)	2
研究指導 (国際法 2A)	2	研究指導 (国際法 2B)	2
研究指導 (国際人権法 1A)	2	研究指導 (国際人権法 1B)	2
研究指導 (国際取引法 1A)	2	研究指導 (国際取引法 1B)	2
研究指導 (国際取引法 2A)	2	研究指導 (国際取引法 2B)	2
研究指導 (民法 1A)	2	研究指導 (民法 1B)	2
研究指導 (民法 2A)	2	研究指導 (民法 2B)	2
研究指導 (民法 3A)	2	研究指導 (民法 3B)	2
研究指導 (民法 4A)	2	研究指導 (民法 4B)	2
研究指導 (民法 5A)	2	研究指導 (民法 5B)	2
研究指導 (民法 6A)	2	研究指導 (民法 6B)	2
研究指導 (民法 7A)	2	研究指導 (民法 7B)	2
研究指導 (消費者法 1A)	2	研究指導 (消費者法 1B)	2
研究指導 (消費者法 2A)	2	研究指導 (消費者法 2B)	2
研究指導 (商法 1A)	2	研究指導 (商法 1B)	2
研究指導 (商法 2A)	2	研究指導 (商法 2B)	2
研究指導 (商法 3A)	2	研究指導 (商法 3B)	2
研究指導 (商法 4A)	2	研究指導 (商法 4B)	2
研究指導 (商法 5A)	2	研究指導 (商法 5B)	2
研究指導 (民事訴訟法 1A)	2	研究指導 (民事訴訟法 1B)	2
研究指導 (民事訴訟法 2A)	2	研究指導 (民事訴訟法 2B)	2
研究指導 (民事訴訟法 3A)	2	研究指導 (民事訴訟法 3B)	2
研究指導 (民事訴訟法 4A)	2	研究指導 (民事訴訟法 4B)	2
研究指導 (刑事法 1A)	2	研究指導 (刑事法 1B)	2
研究指導 (刑事法 2A)	2	研究指導 (刑事法 2B)	2
研究指導 (刑事法 3A)	2	研究指導 (刑事法 3B)	2
研究指導 (刑事法 4 A)	2	研究指導 (刑事法 4 B)	2
研究指導 (経済法 A)	2	研究指導 (経済法 B)	2
研究指導 (労働法 A)	2	研究指導 (労働法 B)	2
研究指導 (外国法 A)	2	研究指導 (外国法 B)	2

研究指導 (環境法 A)	2	研究指導 (環境法 B)	2
研究指導 (行政学 A)	2	研究指導 (行政学 B)	2
研究指導 (政治思想史 A)	2	研究指導 (政治思想史 B)	2
研究指導 (政治史 A)	2	研究指導 (政治史 B)	2
研究指導 (政治体制論 A)	2	研究指導 (政治体制論 B)	2
研究指導 (政策過程論 A)	2	研究指導 (政策過程論 B)	2
研究指導 (国際政治学 1A)	2	研究指導 (国際政治学 1B)	2
研究指導 (国際政治学 2A)	2	研究指導 (国際政治学 2B)	2
研究指導 (比較政治学 A)	2	研究指導 (比較政治学 B)	2
研究指導 (政治情報論 A)	2	研究指導 (政治情報論 B)	2
研究指導 (公共政策論 A)	2	研究指導 (公共政策論 B)	2
研究指導 (政治行動論 A)	2	研究指導 (政治行動論 B)	2
研究指導 (法情報学 A)	2	研究指導 (法情報学 B)	2
研究指導 (知的財産権法A)	2	研究指導 (知的財産権法B)	2
研究指導 (国際金融論A)	2	研究指導 (国際金融論B)	2
講義科目			
法哲学特殊講義	2	西洋法制史特殊講義	2
法社会学特殊講義	2		
憲法特殊講義 1	2	憲法特殊講義 2	2
憲法特殊講義 3	2	行政法特殊講義 1	2
行政法特殊講義 2	2	租税法特殊講義	2
国際租税法特殊講義	2	国際法特殊講義 1	2
国際法特殊講義 2	2	国際人権法特殊講義 1	2
国際取引法特殊講義 1	2	国際取引法特殊講義 2	2
民法特殊講義 1	2	民法特殊講義 2	2
民法特殊講義 3	2	民法特殊講義 4	2
民法特殊講義 5	2	民法特殊講義 6	2
民法特殊講義 7	2		
消費者法特殊講義 1	2	消費者法特殊講義 2	2
商法特殊講義 1	2	商法特殊講義 2	2
商法特殊講義 3	2	商法特殊講義 4	2
商法特殊講義 5	2		
民事訴訟法特殊講義 1	2	民事訴訟法特殊講義 2	2
民事訴訟法特殊講義 3	2	民事訴訟法特殊講義 4	2
刑事法特殊講義 1	2	刑事法特殊講義 2	2
刑事法特殊講義 3	2	刑事法特殊講義 4	2

経済法特殊講義	2	労働法特殊講義	2
外国法特殊講義	2	環境法特殊講義	2
行政学特殊講義	2	政治思想史特殊講義	2
政治史特殊講義	2	政治体制論特殊講義	2
政策過程論特殊講義	2		
国際政治学特殊講義 1	2	国際政治学特殊講義 2	2
比較政治学特殊講義	2	政治情報論特殊講義	2
公共政策論特殊講義	2	政治行動論特殊講義	2
法情報学特殊講義	2	知的財産権法特殊講義	2
国際金融論特殊講義	2		

履修方法

指導教授の研究指導（前後期各 2 単位）および講義科目（2 単位）を 3 年間継続して修得（合計 18 単位）しなければならない。これに加えて、指導教授の指導に基づき、必要な講義科目を履修しなければならない。

国際学研究科国際学専攻

博士前期課程

基礎科目

国際学基礎研究 1	2	国際学基礎研究 2	2
国際学基礎演習 1	2	国際学基礎演習 2	2
アカデミック・ライティング 1	2	アカデミック・ライティング 2	2

日本研究・アジア研究

日本・アジア研究領域基礎演習 1	2	日本・アジア研究領域基礎演習 2	2
開発経済論 1	2	開発経済論 2	2
開発経済論演習 1	2	開発経済論演習 2	2
農業・農村開発論 1	2	農業・農村開発論 2	2
農業・農村開発論演習 1	2	農業・農村開発論演習 2	2
マイノリティ研究 1	2	マイノリティ研究 2	2
マイノリティ研究演習 1	2	マイノリティ研究演習 2	2
比較制度経済学 1	2	比較制度経済学 2	2
比較制度経済学演習 1	2	比較制度経済学演習 2	2
日本文学・文芸評論 1	2	日本文学・文芸評論 2	2
日本文学・文芸評論演習 1	2	日本文学・文芸評論演習 2	2

日本語教育論 1	2	日本語教育論 2	2
日本語教育論演習 1	2	日本語教育論演習 2	2
中国政治経済論 1	2	中国政治経済論 2	2
中国政治経済論演習 1	2	中国政治経済論演習 2	2
成長と分配 1	2	成長と分配 2	2
成長と分配演習 1	2	成長と分配演習 2	2
政治社会思想史 1	2	政治社会思想史 2	2
政治社会思想史演習 1	2	政治社会思想史演習 2	2
南アジア研究 1	2	南アジア研究 2	2
南アジア研究演習 1	2	南アジア研究演習 2	2
アジア政治経済論 1	2	アジア政治経済論 2	2
アジア政治経済論演習 1	2	アジア政治経済論演習 2	2
比較文学 1	2	比較文学 2	2
比較文学演習 1	2	比較文学演習 2	2
比較教育学 1	2	比較教育学 2	2
比較教育学演習 1	2	比較教育学演習 2	2
日本政治経済論 1	2	日本政治経済論 2	2
日本政治経済論演習 1	2	日本政治経済論演習 2	2
日本・東アジア国際政治関係論 1	2	日本・東アジア国際政治関係論 2	2
日本・東アジア国際政治関係論演習 1	2	日本・東アジア国際政治関係論演習 2	2
応用言語学 1	2	応用言語学 2	2
応用言語学演習 1	2	応用言語学演習 2	2
平和研究			
平和研究領域基礎演習 1	2	平和研究領域基礎演習 2	2
文化創造論 1	2	文化創造論 2	2
文化創造論演習 1	2	文化創造論演習 2	2
イスラム思想論 1	2	イスラム思想論 2	2
イスラム思想論演習 1	2	イスラム思想論演習 2	2
平和の思想 1	2	平和の思想 2	2
平和の思想演習 1	2	平和の思想演習 2	2
先住民研究 1	2	先住民研究 2	2
先住民研究演習 1	2	先住民研究演習 2	2
国際人権・難民法 1	2	国際人権・難民法 2	2
国際人権・難民法演習 1	2	国際人権・難民法演習 2	2
国際関係法 1	2	国際関係法 2	2
国際関係法演習 1	2	国際関係法演習 2	2

軍縮と平和 1	2	軍縮と平和 2	2
軍縮と平和演習 1	2	軍縮と平和演習 2	2
比較文化論 1	2	比較文化論 2	2
比較文化論演習 1	2	比較文化論演習 2	2
仏教文化史 1	2	仏教文化史 2	2
仏教文化史演習 1	2	仏教文化史演習 2	2
政治社会学 1	2	政治社会学 2	2
政治社会学演習 1	2	政治社会学演習 2	2
NGO論 1	2	NGO論 2	2
NGO論演習 1	2	NGO論演習 2	2
ジェンダー研究 1	2	ジェンダー研究 2	2
ジェンダー研究演習 1	2	ジェンダー研究演習 2	2
グローバル社会研究			
グローバル社会研究領域基礎演習 1	2	グローバル社会研究領域基礎演習 2	2
ヨーロッパ政治経済論 1	2	ヨーロッパ政治経済論 2	2
ヨーロッパ政治経済論演習 1	2	ヨーロッパ政治経済論演習 2	2
宗教文化論 1	2	宗教文化論 2	2
宗教文化論演習 1	2	宗教文化論演習 2	2
比較政治学 1	2	比較政治学 2	2
比較政治学演習 1	2	比較政治学演習 2	2
国際文化論 1	2	国際文化論 2	2
国際文化論演習 1	2	国際文化論演習 2	2
国際金融の政治経済学 1	2	国際金融の政治経済学 2	2
国際金融の政治経済学演習 1	2	国際金融の政治経済学演習 2	2
社会起業論 1	2	社会起業論 2	2
社会起業論演習 1	2	社会起業論演習 2	2
環境と政策 1	2	環境と政策 2	2
環境と政策演習 1	2	環境と政策演習 2	2
国際政治経済論 1	2	国際政治経済論 2	2
国際政治経済論演習 1	2	国際政治経済論演習 2	2
アメリカ文化研究 1	2	アメリカ文化研究 2	2
アメリカ文化研究演習 1	2	アメリカ文化研究演習 2	2
中欧・東欧研究 1	2	中欧・東欧研究 2	2
中欧・東欧研究演習 1	2	中欧・東欧研究演習 2	2
国際関係論 1	2	国際関係論 2	2
国際関係論演習 1	2	国際関係論演習 2	2

国際経済論 1	2	国際経済論 2	2
国際経済論演習 1	2	国際経済論演習 2	2
国際経済法 1	2	国際経済法 2	2
国際経済法演習 1	2	国際経済法演習 2	2
応用計量分析 1	2	応用計量分析 2	2
応用計量分析演習 1	2	応用計量分析演習 2	2
アフリカ政治経済論 1	2	アフリカ政治経済論 2	2
アフリカ政治経済論演習 1	2	アフリカ政治経済論演習 2	2
オセアニア地域研究 1	2	オセアニア地域研究 2	2
オセアニア地域研究演習 1	2	オセアニア地域研究演習 2	2
比較政治経済 1	2	比較政治経済 2	2
比較政治経済演習 1	2	比較政治経済演習 2	2
社会政策論 1	2	社会政策論 2	2
社会政策論演習 1	2	社会政策論演習 2	2
インターンシップ			
インターンシップ A	2	インターンシップ B	4
海外研究 1	2	海外研究 2	2
論文指導			
研究指導 (1a)	1	研究指導 (1b)	1
研究指導 (2a)	1	研究指導 (2b)	1
研究指導 (3a)	1	研究指導 (3b)	1
研究指導 (4a)	1	研究指導 (4b)	1
研究指導 (5a)	1	研究指導 (5b)	1
研究指導 (6a)	1	研究指導 (6b)	1
研究指導 (7a)	1	研究指導 (7b)	1
研究指導 (8a)	1	研究指導 (8b)	1
研究指導 (9a)	1	研究指導 (9b)	1
研究指導 (10a)	1	研究指導 (10b)	1
研究指導 (11a)	1	研究指導 (11b)	1
研究指導 (12a)	1	研究指導 (12b)	1
研究指導 (13a)	1	研究指導 (13b)	1
研究指導 (14a)	1	研究指導 (14b)	1
研究指導 (15a)	1	研究指導 (15b)	1
研究指導 (16a)	1	研究指導 (16b)	1
研究指導 (17a)	1	研究指導 (17b)	1
研究指導 (18a)	1	研究指導 (18b)	1

研究指導 (19a)	1	研究指導 (19b)	1
研究指導 (20a)	1	研究指導 (20b)	1
研究指導 (21a)	1	研究指導 (21b)	1
研究指導 (22a)	1	研究指導 (22b)	1
研究指導 (23a)	1	研究指導 (23b)	1
研究指導 (24a)	1	研究指導 (24b)	1
研究指導 (25a)	1	研究指導 (25b)	1
研究指導 (26a)	1	研究指導 (26b)	1
研究指導 (27a)	1	研究指導 (27b)	1
研究指導 (28a)	1	研究指導 (28b)	1
研究指導 (29a)	1	研究指導 (29b)	1
研究指導 (30a)	1	研究指導 (30b)	1
研究指導 (31a)	1	研究指導 (31b)	1
研究指導 (32a)	1	研究指導 (32b)	1
研究指導 (33a)	1	研究指導 (33b)	1
研究指導 (34a)	1	研究指導 (34b)	1
研究指導 (35a)	1	研究指導 (35b)	1
研究指導 (36a)	1	研究指導 (36b)	1

履修方法

1. 博士前期課程にあつては、2 年以上在籍し、30 単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文を作成しなければならない。
2. 必修科目は (1) 国際学基礎演習 1、国際学基礎演習 2 の 2 科目 (4 単位)、 (2) 指導教員が担当する演習を伴う科目より 2 科目 (4 単位) ならびにその演習 2 科目 (4 単位)、 (3) 論文指導としての研究指導 4 科目 (4 単位) の合計 16 単位とする。研究指導科目は、原則として同一科目番号の a および b を合わせて履修しなければならない。
3. 演習を伴う科目については、原則として指導教員の開講する科目を履修しなければならない。
4. その他の授業科目 7 科目 14 単位以上を選択履修するものとする。
5. 国際学科の学科講義科目(3)または国際キャリア学科の上級科目 (講義科目) の 2 科目に限って、国際学基礎研究 1 または国際学基礎研究 2 の修得とすることができる。履修にあたっては指導教員が指定し、国際学専攻主任の許可を得なければならない。これらの科目の担当教員は、大学院生の履修者に対しては、追加的な教材、課題を課し、大学院生独自の基準で単位を認定する。但し、国際学基礎研究 1 および国際学基礎研究 2 の単位は修了単位に含められない。
6. 指導教員の研究指導については同一科目の複数回の履修を可とする。

博士後期課程

特殊研究 (軍縮・平和研究)	4	特殊研究 (軍縮・平和研究) 研究指導	4
特殊研究 (国際関係論)	4	特殊研究 (国際関係論) 研究指導	4
特殊研究 (国際人権・難民法)	4	特殊研究 (国際人権・難民法) 研究指導	4
特殊研究 (国際関係法)	4	特殊研究 (国際関係法) 研究指導	4
特殊研究 (国際経済論)	4	特殊研究 (国際経済論) 研究指導	4
特殊研究 (国際経済法)	4	特殊研究 (国際経済法) 研究指導	4
特殊研究 (国際政治経済論)	4	特殊研究 (国際政治経済論) 研究指導	4
特殊研究 (アフリカ政治経済論)	4	特殊研究 (アフリカ政治経済論) 研究指導	4
特殊研究 (アジア政治経済論)	4	特殊研究 (アジア政治経済論) 研究指導	4
特殊研究 (東アジア地域研究)	4	特殊研究 (東アジア地域研究) 研究指導	4
特殊研究 (南アジア研究)	4	特殊研究 (南アジア研究) 研究指導	4
特殊研究 (中国政治経済論)	4	特殊研究 (中国政治経済論) 研究指導	4
特殊研究 (EU 政治経済論)	4	特殊研究 (EU 政治経済論) 研究指導	4
特殊研究 (中欧東欧論)	4	特殊研究 (中欧東欧論) 研究指導	4
特殊研究 (比較経済制度研究)	4	特殊研究 (比較経済制度研究) 研究指導	4
特殊研究 (地域統合の政治経済学)	4	特殊研究 (地域統合の政治経済学) 研究指導	4
特殊研究 (国際保健)	4	特殊研究 (国際保健) 研究指導	4
特殊研究 (文化創造論)	4	特殊研究 (文化創造論) 研究指導	4
特殊研究 (比較文化論)	4	特殊研究 (比較文化論) 研究指導	4
特殊研究 (宗教学・宗教史学)	4	特殊研究 (宗教学・宗教史学) 研究指導	4
特殊研究 (仏教文化論)	4	特殊研究 (仏教文化論) 研究指導	4
特殊研究 (イスラム思想論)	4	特殊研究 (イスラム思想論) 研究指導	4
特殊研究 (近現代日本政治思想史)	4	特殊研究 (近現代日本政治思想史) 研究指導	4
特殊研究 (現代日本文学)	4	特殊研究 (現代日本文学) 研究指導	4
特殊研究 (日欧比較文学)	4	特殊研究 (日欧比較文学) 研究指導	4
特殊研究 (日米比較文学)	4	特殊研究 (日米比較文学) 研究指導	4
特殊研究 (比較教育学)	4	特殊研究 (比較教育学) 研究指導	4
特殊研究 (日本語教育論)	4	特殊研究 (日本語教育論) 研究指導	4
特殊研究 (政治社会学)	4	特殊研究 (政治社会学) 研究指導	4
特殊研究 (社会的少数者)	4	特殊研究 (社会的少数者) 研究指導	4
特殊研究 (ジェンダー論)	4	特殊研究 (ジェンダー論) 研究指導	4
特殊研究 (社会起業論)	4	特殊研究 (社会起業論) 研究指導	4
特殊研究 (環境・環境政策論)	4	特殊研究 (環境・環境政策論) 研究指導	4
特殊研究 (成長と分配)	4	特殊研究 (成長と分配) 研究指導	4

特殊研究（比較政治学）	4	特殊研究（比較政治学）研究指導	4
特殊研究（日本政治経済論）	4	特殊研究（日本政治経済論）研究指導	4
特殊研究（応用計量分析）	4	特殊研究（応用計量分析）研究指導	4
特殊研究（農業・農村開発論）	4	特殊研究（農業・農村開発論）研究指導	4
特殊研究（アメリカ先住民研究）	4	特殊研究（アメリカ先住民研究） 研究指導	4
特殊研究（オセアニア地域研究）	4	特殊研究（オセアニア地域研究） 研究指導	4
特殊研究（比較政治経済）	4	特殊研究（比較政治経済）研究指導	4
特殊研究 （日本・東アジア国際政治関係論）	4	特殊研究 （日本・東アジア国際政治関係論） 研究指導	4
特殊研究（社会政策論）	4	特殊研究（社会政策論）研究指導	4
特殊研究（応用言語学）	4	特殊研究（応用言語学）研究指導	4

履修方法

国際学研究科国際学専攻後期課程にあつては、

- (1) 指導教員の講義科目 4 単位と研究指導 8 単位、合計 12 単位以上を修得し、かつ、博士論文を作成しなければならない。指導教員の研究指導については同一科目の複数回の履修を可とする。
- (2) さらに、指導教員の指導にもとづいて、研究の基礎科目を受講しなければならない。
- (3) 研究指導は、指導教員（主査）と 2 名の指導教員（副査）によって行う。

心理学研究科心理学専攻

博士前期課程

I 臨床心理学コース

1 必修科目

[19 科目（39 単位）を全て履修すること。]

臨床心理学特論 A	2	臨床心理学特論 B	2
臨床心理面接特論 A（心理支援に関する理論と実践）	2	臨床心理面接特論 B	2
臨床心理査定演習 A（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2	臨床心理査定演習 B	2
臨床心理基礎実習 A	1	臨床心理基礎実習 B	1
心理実践実習 I	2	心理実践実習 II	3
心理実践実習 III	2	心理実践実習 IV	2
臨床心理実習 I（心理実践実習 V）	2	臨床心理実習 I（心理実践実習 VI）	2
臨床心理実習 I（心理実践実習 VII）	4	臨床心理実習 I（心理実践実習 VIII）	2

臨床心理実習Ⅱ	2	臨床心理特論研究1	2
臨床心理特論研究2	2		
2 選択必修科目			
〔次の各群から各々1科目(2単位)以上、計5科目(10単位)以上を履修すること。〕			
A群			
心理統計法特論	2	心理学研究法特論	2
心理学特殊研究1	2		
B群			
パーソナリティ心理学特論	2	生涯発達心理学特論	2
認知心理学特論	2	生理心理学特論	2
大脳生理学特論	2		
C群			
社会心理学特論	2	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2
D群			
精神医学特論A(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	精神医学特論B	2
心身医学特論	2	老年心理学特論	2
障害児・者心理臨床学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2		
E群			
投影法特論	2	心理療法特論1(精神分析療法)	2
心理療法特論2(クライアント中心療法)	2	心理療法特論3(認知行動療法)	2
心理療法特論4(家族療法)	2	心理療法特論5(遊戯療法・箱庭療法)	2
コミュニティ・アプローチ特論	2	グループ・アプローチ特論	2
3 選択科目			
教育分野に関する理論と支援の展開	2	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2	心の健康教育に関する理論と実践	2

修了要件

心理学専攻博士前期課程臨床心理学コースを修了するためには、次に示す科目を履修して単位を修得すると共に、「修士論文」を定められた期日までに提出し審査に合格することが必要である。

1 必修科目	19科目	39単位
2 選択必修科目	5科目	10単位
合計	24科目	49単位以上

II 心理学コース

1 必修科目

[5科目(8単位)を全て履修すること。]

心理応用統計法	2	心理学研究法 1	2
心理学研究法 2	2	心理学研究指導 A	1
心理学研究指導 B	1		

2 選択必修科目

(1) 講義科目

[8科目(16単位)を履修すること。]

生理心理学特論	2	認知心理学特論	2
生涯発達心理学特論	2	老年心理学特論	2
社会心理学特論	2	産業・組織心理学特論	2
教育測定心理学特論	2	犯罪心理学特論	2
進化心理学特論	2	感情心理学特論	2
パーソナリティ心理学特論	2	心理統計法特論	2
心理学研究法特論	2	大脳生理学特論	2
発達検査法特論	2		
精神医学特論 A (保健医療に関する理論と支援の展開)	2	精神医学特論 B	2
家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	2		

(2) 研究科目

[4科目(4単位)を履修すること。ただし、1科目につき 1A B・2A Bを連続して履修すること。]

生理心理学特論研究 1A	1	生理心理学特論研究 1B	1
生理心理学特論研究 2A	1	生理心理学特論研究 2B	1
認知心理学特論研究 1A	1	認知心理学特論研究 1B	1
認知心理学特論研究 2A	1	認知心理学特論研究 2B	1
発達心理学特論研究 1A	1	発達心理学特論研究 1B	1
発達心理学特論研究 2A	1	発達心理学特論研究 2B	1
老年心理学特論研究 1A	1	老年心理学特論研究 1B	1
老年心理学特論研究 2A	1	老年心理学特論研究 2B	1
社会心理学特論研究 1A	1	社会心理学特論研究 1B	1
社会心理学特論研究 2A	1	社会心理学特論研究 2B	1
産業・組織心理学特論研究 1A	1	産業・組織心理学特論研究 1B	1
産業・組織心理学特論研究 2A	1	産業・組織心理学特論研究 2B	1
教育心理学特論研究 1A	1	教育心理学特論研究 1B	1

教育心理学特論研究 2A	1	教育心理学特論研究 2B	1
犯罪心理学特論研究 1 A	1	犯罪心理学特論研究 1 B	1
犯罪心理学特論研究 2 A	1	犯罪心理学特論研究 2 B	1

3 選択科目

[合計 5 科目 (8 単位) 以上を履修すること。]

<講義科目> 3 科目 (6 単位) 以上を履修すること。

生理心理学特殊研究	2	認知心理学特殊研究	2
発達心理学特殊研究	2	老年心理学特殊研究	2
社会心理学特殊研究	2	産業・組織心理学特殊研究	2
教育心理学特殊研究	2	犯罪心理学特殊研究	2
心理学特殊研究 1	2	心理学特殊研究 2	2
心理学特殊研究 3	2	心理学特殊研究 4	2
心理学特殊研究 5	2	臨床発達心理学総論	2
保育発達心理学総論	2	情動発達心理学特論	2
言語コミュニケーション特論	2	言語発達心理学特論	2
障害児心理学総論	2	教育発達学研究法特論	2

<実習科目> 2 科目 (2 単位) 以上を履修すること。

生理心理学実習 A	1	生理心理学実習 B	1
認知心理学実習 A	1	認知心理学実習 B	1
発達心理学実習 A	1	発達心理学実習 B	1
老年心理学実習 A	1	老年心理学実習 B	1
社会心理学実習 A	1	社会心理学実習 B	1
産業・組織心理学実習 A	1	産業・組織心理学実習 B	1
教育心理学実習 A	1	教育心理学実習 B	1
犯罪心理学実習 A	1	犯罪心理学実習 B	1

修了要件

心理学専攻博士前期課程心理学コースを修了するためには、次に示す科目を履修して単位を修得すると共に「修士論文」を定められた期日までに提出し審査に合格することが必要である。

1 必修科目	5 科目	8 単位
2 選択必修科目		
(1) 講義科目	8 科目	16 単位
(2) 研究科目	4 科目	4 単位
3 選択科目	5 科目	8 単位
合計	22 科目	36 単位以上

博士後期課程

1. 特別演習			
特別演習 I	2	特別演習 II	2
特別演習 III	2	特別演習 IV	2
特別演習 V	2	特別演習 VI	2
2. 特別講義			
基礎心理学領域群 (I)			
特別講義 I A	2	特別講義 I B	2
特別講義 I C	2	特別講義 I D	2
特別講義 I E	2	特別講義 I F	2
臨床心理学領域群 (II)			
特別講義 II A	2		
特別講義 II B	2	特別講義 II C	2
特別講義 II D	2	特別講義 II E	2
特別講義 II F	2		
教育発達学領域群 (III)			
特別講義 III A	2		
特別講義 III B	2	特別講義 III C	2
特別講義 III D	2	特別講義 III E	2
特別講義 III F	2	特別講義 III G	2
特別講義 III H	2	特別講義 III I	2
特別講義 III J	2	特別講義 III K	2
特別講義 III L	2	特別講義 III M	2
特別講義 III N	2		

修了要件

心理学研究科心理学専攻博士後期課程にあつては、3年以上在学し、論文指導教授の「特別演習」6科目(12単位)、論文指導教授以外の教員が担当する「特別講義」2科目(4単位)、合わせて16単位以上を修得し、かつ、博士論文の審査及び試験に合格しなければならない。

心理学研究科教育発達学専攻

修士課程

<研究基礎科目>

教育発達学総論	2	教育発達学特論 I A (発達心理)	2
教育発達学特論 I B (教育心理)	2	教育発達学特論 II A (教育環境)	2

教育発達学特論Ⅱ B (学習過程)	2	教育発達学特論Ⅲ A (障害児・者心理)	2
教育発達学特論Ⅲ B (特別支援)	2		
<課題探究科目>			
A 発達の理解領域			
臨床発達心理学総論	2	保育発達心理学総論	2
情動発達心理学特論	2	言語コミュニケーション特論	2
言語発達心理学特論	2	認知心理学特論	2
障害児心理学総論	2	心理統計法特論	2
教育発達学研究法特論	2		
B 行動の理解と支援領域			
保育臨床心理学特論	2	生徒指導特論	2
知的障害児病理特論	2	発達障害児病理特論	2
肢体不自由児病理特論	2	病弱児病理特論	2
臨床アセスメント特論	2	発達検査法特論	2
障害児キャリア支援特論	2	学級集団アセスメント特論	2
C 学習の理解と支援領域			
学習心理学特論	2	幼児教育特論	2
造形表現特論	2	子ども言語特論	2
音楽表現特論	2	初等科教育研究特論 (国語)	2
初等科教育研究特論 (社会)	2	初等科教育研究特論 (算数)	2
初等科教育研究特論 (生活)	2	初等科教育研究特論 (音楽)	2
初等科教育研究特論 (図画工作)	2	初等科教育研究特論 (体育)	2
特別支援教育学特論	2	肢体不自由児教育学特論	2
知的障害児指導法特論	2	発達障害児指導法特論	2
保育教材開発特論	2	特別支援教材開発特論	2
教育発達臨床研究 A (幼稚園)	2	教育発達臨床研究 B (小学校)	2
教育測定心理学特論	2		
D 子どもの環境デザイン領域			
人間関係心理学特論	2	教師論特論	2
教育経営学特論	2	比較教育学特論	2
教育課程学特論	2	学校カウンセリング特論	2
教育相談学特論	2	特別支援教育コーディネーター特論	2
<臨床実習科目>			
教育発達臨床学外実習	2	障害児臨床実習 1 (アセスメント)	2
障害児臨床実習 2 (相談・支援)	2	障害児臨床学外実習	2
<研究指導科目>			

修了要件

修了要件ならびに履修方法は、以下の通りである。

1. 2年以上在学すること。
2. 授業科目の中から36単位以上を修得すること。そのうち「研究基礎科目」の7科目、研究指導1および研究指導2の2科目、計9科目18単位を必修とする。また、各領域から1科目、計4科目8単位を選択必修とする。
3. 修士論文の審査に合格すること。

法と経営学研究科法と経営学専攻

修士課程

共通基礎科目

ビジネス総論 1	2	ビジネス総論 2	2
中小企業研究総論 (事業承継の法と経営)	2	企業と社会 (CSR)	2
法と経済学	2	法学研究論	2
経営学研究論	2	社会起業論	2
起業論	2	統計学総論	2
法と経営学特論	2		

講義科目

<コーポレート・ガバナンス>

経営学関連科目

コーポレート・ガバナンス研究	2	企業経営研究 (アジア進出日系企業の経営戦略)	2
会計研究 1 (企業会計)	2	会計研究 2 (内部統制・監査)	2

法学関連科目

会社法研究 1 (企業組織の法と実務)	2	会社法研究 2 (企業再編の法と実務)	2
民事再生法研究 (企業再生の法と実務)	2		

<ファイナンス>

経営学関連科目

ファイナンス研究 1 (コーポレートファイナンス)	2	ファイナンス研究 2 (インベストメント)	2
会計研究 3 (会計情報と企業評価)	2		

法学関連科目

企業金融研究（資金調達の法と実務）	2	担保法研究（担保・保証の法と実務）	2
<ヒューマン・リソース>			
経営学関連科目			
経営組織・労務研究 1 （経営組織の構築と運営）	2	経営組織・労務研究 2 （戦略的人的資源管理）	2
経営組織・労務研究 3（経営と組織）	2		
法学関連科目			
労働法研究 1 （雇用システムの法と実務）	2	労働法研究 2 （労働組合の法と実務）	2
社会保障法研究 （社会保険制度の法と実務）	2		
<プロダクション&サプライ>			
経営学関連科目			
経営戦略研究 1 （中小・中堅企業の持続的競争力構築）	2	経営戦略研究 2 （グローバルビジネス）	2
経営戦略研究 3（情報システム）	2	会計研究 4（管理会計）	2
法学関連科目			
契約法研究（契約法の基本原理）	2	知的財産法研究 （知的財産の法と実務）	2
国際取引法研究 （グローバルビジネスの法と実務）	2		
<マーケティング>			
経営学関連科目			
マーケティング研究 1（消費者行動）	2	マーケティング研究 2 （マーケティングサイエンス）	2
法学関連科目			
不法行為法研究 （不法行為法の基本構造）	2	消費者法研究 （消費者保護の法と実務）	2
競争法研究（企業間競争の法と実務）	2	経済刑法研究（企業と刑法）	2
<ガバメント>			
経営学関連科目			
会計研究 5（会計基準論）	2	グローバルビジネスと税	2
法学関連科目			
憲法研究（企業と憲法）	2	行政法研究（行政規制の法と実務）	2
税法研究 1（税法の基本原理）	2	税法研究 2（所得税の法と実務）	2
税法研究 3（法人税の法と実務）	2	税法研究 4（消費税の法と実務）	2
環境法研究（企業と環境問題）	2		
演習科目			
1 年次演習	4	研究指導	4

特定課題研究	2	合同演習	2
研究関連科目			
エクスターンシップ	2	ビジネス英語	2
民事訴訟法研究（紛争解決の法と実務）	2	刑事訴訟法研究（刑事事件の法と実務）	2

修了要件

修了要件ならびに履修方法は以下の通りである。

1. 法と経営学研究科法と経営学専攻修士課程においては、2年以上在学し、30単位以上を修得し、修士論文または特定課題研究成果報告書の審査に合格しなければならない。
2. 在籍2年目の履修登録時に、修士論文または特定課題研究成果報告書のいずれかを選択しなければならない。
3. 経営学と法学の融合的学習を目的とする「共通基礎科目」のうち8単位（うち4単位はビジネス総論1・2）と合同演習2単位、および研究指導4単位または特定課題研究2単位を必修単位とする。さらに、講義科目の中から経営学関連科目2科目（4単位）、法学関連科目2科目（4単位）を修得しなければならない。